

★この注文書でのご注文は返品条件付きで出荷します

●人文(日本史)・コミック ご担当者さま

12月中旬  
3刷出来予定

## 『ゴールデンカムイ』でお馴染み、最強の北鎮部隊

終戦時、スターリンは国後島以南の島嶼部ばかりか「北海道の北半分」(釧路-留萌の以北)の領有まで要求していた。最終的にトルーマン大統領はこれを退けたが、それはソビエト軍の侵攻を「北鎮」部隊が樺太と千島で食い止めたから可能となった。占守島(千島列島東端)の戦いが北海道の分断を救った、と言われる所以である。

——佐藤卓己氏、日本経済新聞 10月9日

# 第七師団と戦争の時代

## 帝国日本の北の記憶

渡辺浩平 著



### 「最強」師団はいかに戦い、そして負けたのか

大東亜共栄圏から東南アジア進出にいたるまで日本の対外認識を大きく形作ってきたのは、「南進」論であるといわれる。しかし、果たして、それは正しい理解なのだろうか？これが本書の問題関心である。第七師団が札幌の月寒に創設された。この師団は鎮台からの繰り上げではない、全く新しい危機に対応したものであった。いうまでもなくロシア(ソ連)の脅威への対応である。

2022年1月上旬毎日新聞広告掲載予定、補充は年内に!

貴店印	希望数	ISBN978-4-560	書名	本体価格
ご担当 様		09862-2	第七師団と戦争の時代	2,500円

(株)白水社 営業部 TEL 03-3291-7811

FAX 03-3291-8448 (備考 2-20)